

## 生態系区分

河川

## 区分レベル

大

## 含まれる生態系(生態系区分)

八チゴロウの戸島湿地(湿地)・田結の湿地(里地里山)

## 市町名

豊岡市

## 場所

河口～出石川合流地点

## 選定理由

希少性	多様性	特殊性	脆弱性	分布限定性	人との関わり	複合性

## 保全制度

国立公園

## 概要

日本海に流入する県下最大の河川の下流域。指定範囲は河川を中心に流域の水田地帯や里山を含み、多様な環境により構成されている。

円山川下流域では、潮汐による干満差は小さいがスケールの大きな汽水域が広がる。桃島池、ひのそ島などの二次地形を伴う。

ヨシ群落を始めとする湿性植生は、昆虫類・植物の希少種の生育・生息地として日本の重要湿地500にも選定されている。ヒヌマイトトンボが生息することでも有名。

周囲の水田を含む地域一帯はコウノトリの生息環境として重要である。この地域では、国や県によりコウノトリ野生復帰事業が行われ、自然再生事業や環境創造型農業の実践などが取り組まれている。

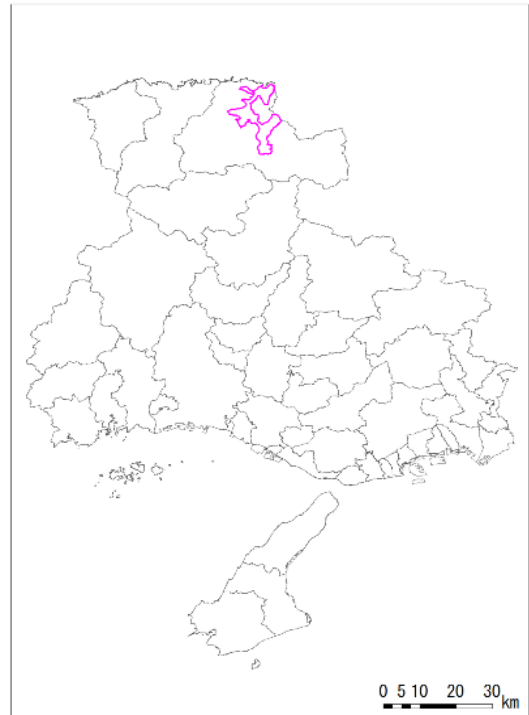
指定範囲の下流部にはラムサール湿地の候補地が含まれている(2011年現在)。

## 【八チゴロウの戸島湿地】

コウノトリの繁殖地となっている。ミズアオイやヒメシロアサザなどの湿地に生育する希少植物が確認されている。海との連続性が確保されているため、汽水に生息するカライワシやイトヨなどの希少な魚類も確認されている。

## 【田結の湿地】

イトトリゲモ、シャジクモ、トリゲモ、オオアカウキクサ但馬型などの希少な植物が多産するほか、休耕田にはヤマアカガエルなどの両生類が多産する。コウノトリの餌場として重要。



八チゴロウの戸島湿地

写真提供：豊岡市



田結の湿地

写真提供：大嶋範行